

江別市まちづくり市民アンケート

調査報告書

(概要版)

このアンケートは、「第7次江別市総合計画」を策定するにあたり、市民の市の現状に対する満足度や将来のまちづくりに対する考え方などを把握するために実施しました。

調査の対象	江別市内に住む18歳以上の方を対象に、 5,000人を無作為に抽出
配布・回収方法	郵送にて配布、回収
実施期間	令和3年(2021年)10月6日(水)～10月31日(日)
回収数及び 有効回答数	配布数 5,000票 有効回答数 2,059票 有効回答率 41.2%

< 報告書の集計・表記方法についての留意点は、次のとおりです。 >

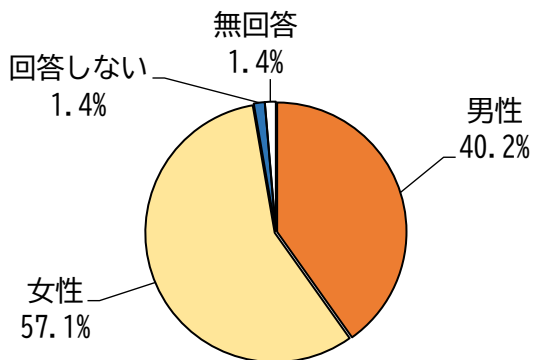
- 比較や順位付けは、回答数ではなく、回答率(%)や加重平均値で行っています。そのため、「多い・少ない」ではなく「高い・低い」という表記を用いています。
- グラフや表にある[]の中の数字は、回答者の数です。各属性の回答者数は、「無回答」を除いて表示しているため、合計が全体回答者数(2,059人)になりません。
- 集計結果は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを%で表示しています。そのため、選択肢から1つだけ選択する設問では、%を合計しても100.0%にならないことがあります。
- 実際に用いた調査票の言葉が長い選択肢については、グラフや文章で示す際、選択肢の内容を短縮しているものがあります。
- 今回の結果と比較を行っている「前回のアンケート」とは、平成23年(2011年)10月～11月に、18歳以上の市民5,000人を対象に実施したアンケート結果の数値です。(回収数1,825票、回収率36.5%)

も く じ

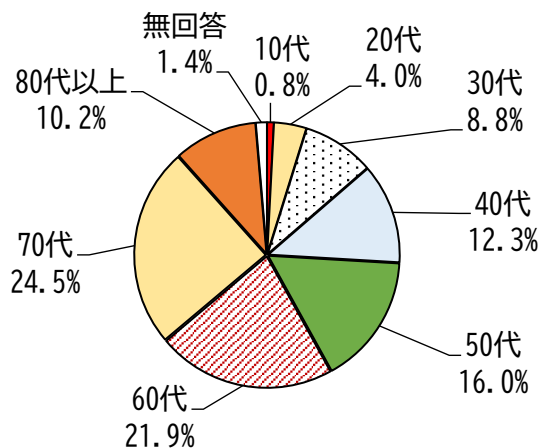
回答者の属性	1
問1 住み心地について	2
問2 定住意向.....	3
問3 現在の満足度と今後の重要度	4
問4 住まいの近くに欠かせないと思う施設	9
問5 コンパクトで住みやすい環境になっていると思うか	9
問6 人口減少や少子高齢化が進むことで、想定される影響	10
問7 今後の都市づくりの考え方.....	10
問8 将来の江別市のイメージ	11
問9 江別市のまちづくりや市民参加について	14
問10 SDGsについて	17
問11 感染拡大の影響を受け、市が特に力を入れるべき分野	18

回答者の属性

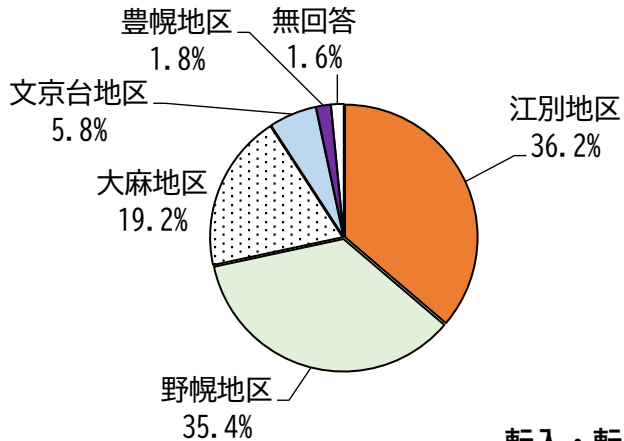
性別 [2,059人]



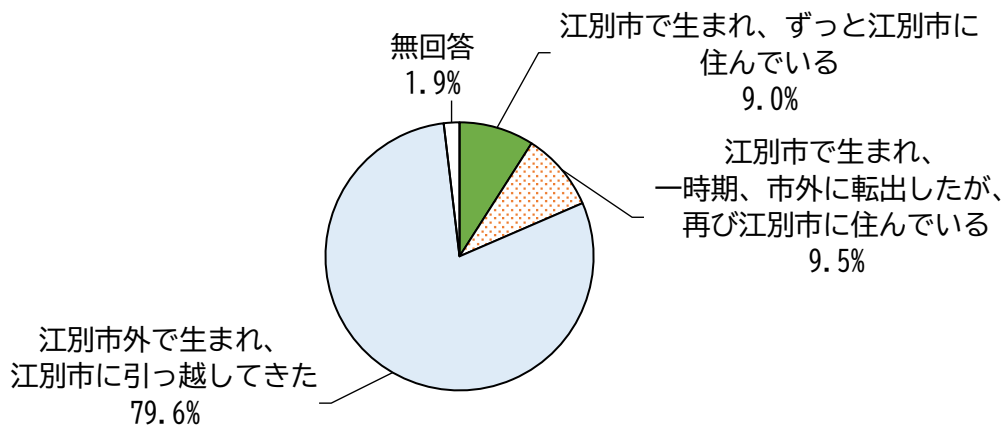
年代 [2,059人]



居住地区 [2,059人]



転入・転出の状況 [2,059人]

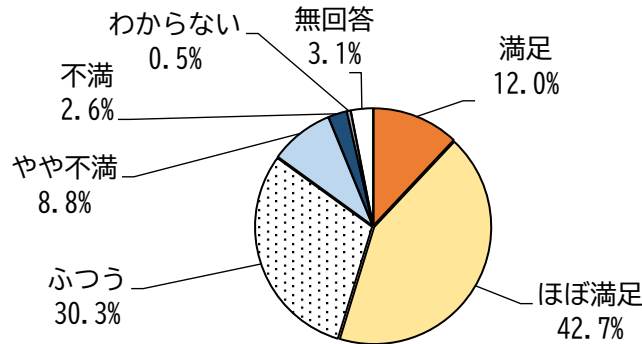


問1 住み心地について

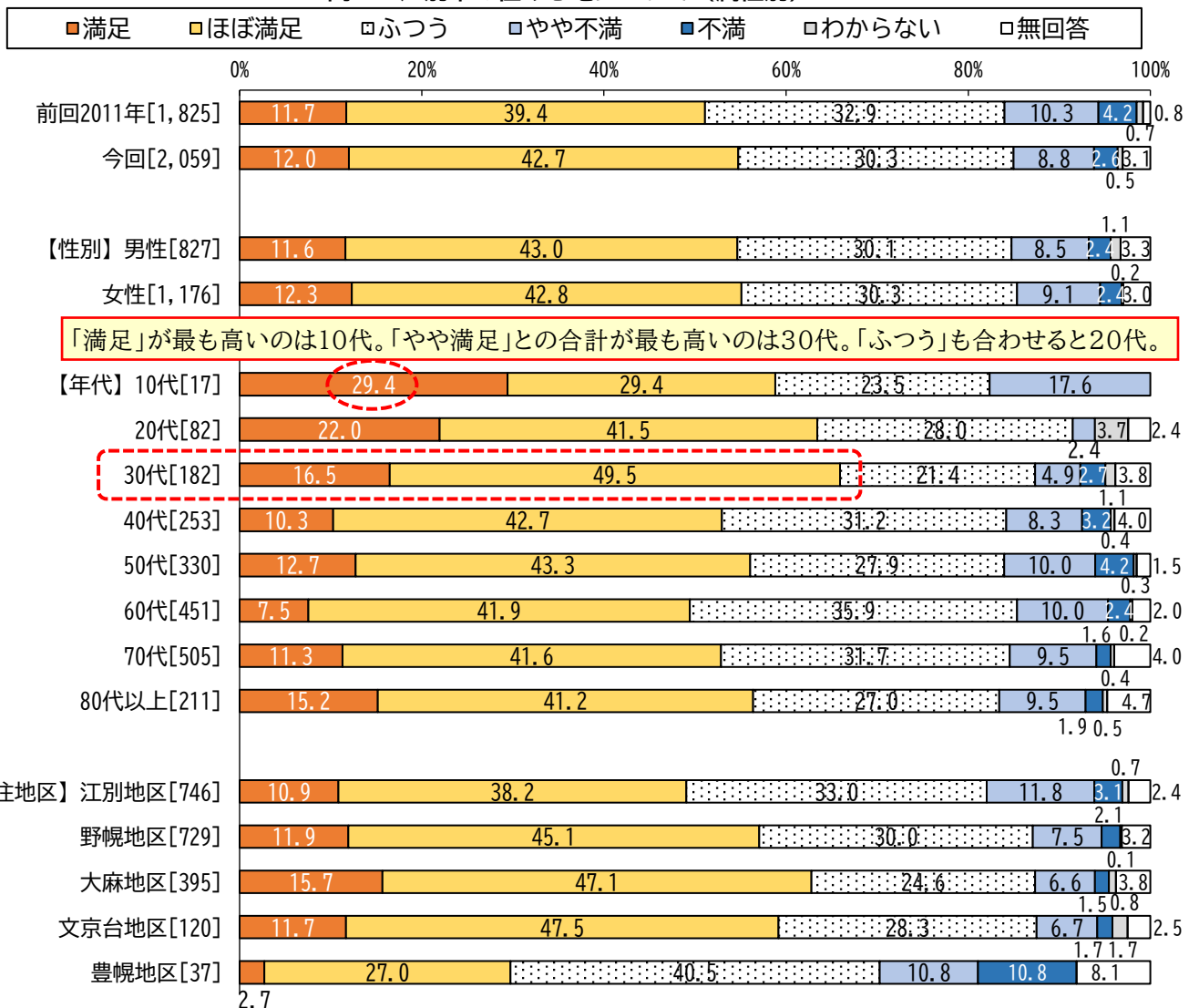
問1 あなたは、江別市の住み心地についてどう思いますか。1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

- 「ほぼ満足(42.7%)」が約4割を占め最も高く、「ふつう(30.3%)」が約3割で続きます。
- 「満足(12.0%)」と「ほぼ満足」の合計は54.7%で、程度の差はありますが、“満足”と感じている回答者の割合は過半数を占めます。
- 一方、「やや不満(8.8%)」と「不満(2.6%)」の合計は11.4%で“不満”を感じている人が約1割を占めます。

問1 江別市の住み心地について [2,059人]



問1 江別市の住み心地について (属性別)

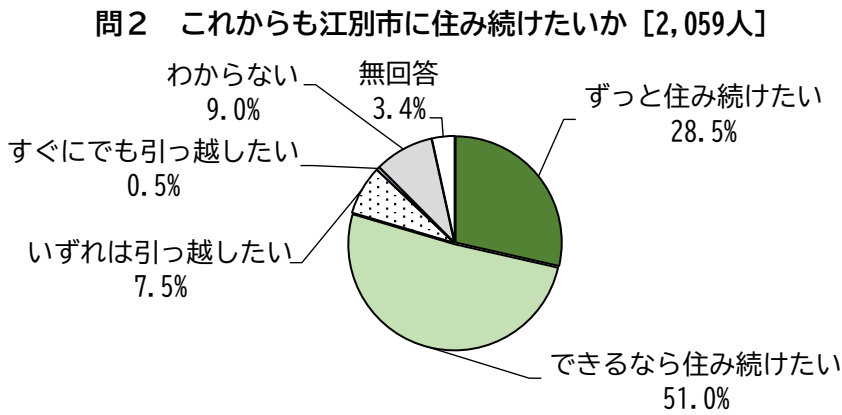


問2 定住意向

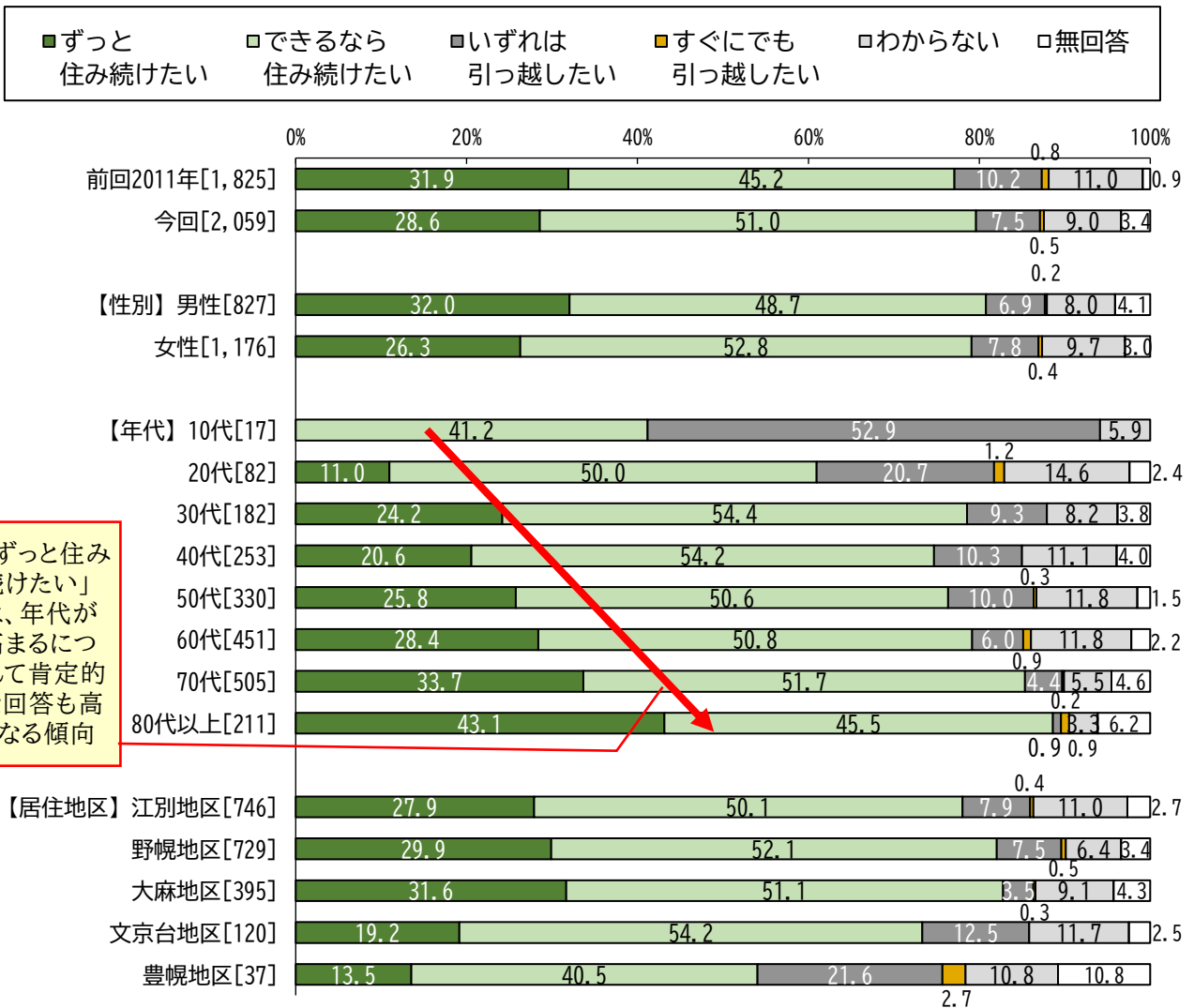
問2 あなたは、これからも江別市に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

○「できるなら住み続けたい(51.0%)」が過半数を占め最も高く、「ずっと住み続けたい(28.5%)」が約3割で続きます。この2つを合計すると 79.5%で、程度の差はありますが、“定住意向”を示した回答者は約8割を占めます。

○「いずれは引っ越したい」は 7.5%、「すぐにでも引っ越したい」は 0.5%で、合計すると8%です。



問2 これからも江別市に住み続けたいか (属性別)



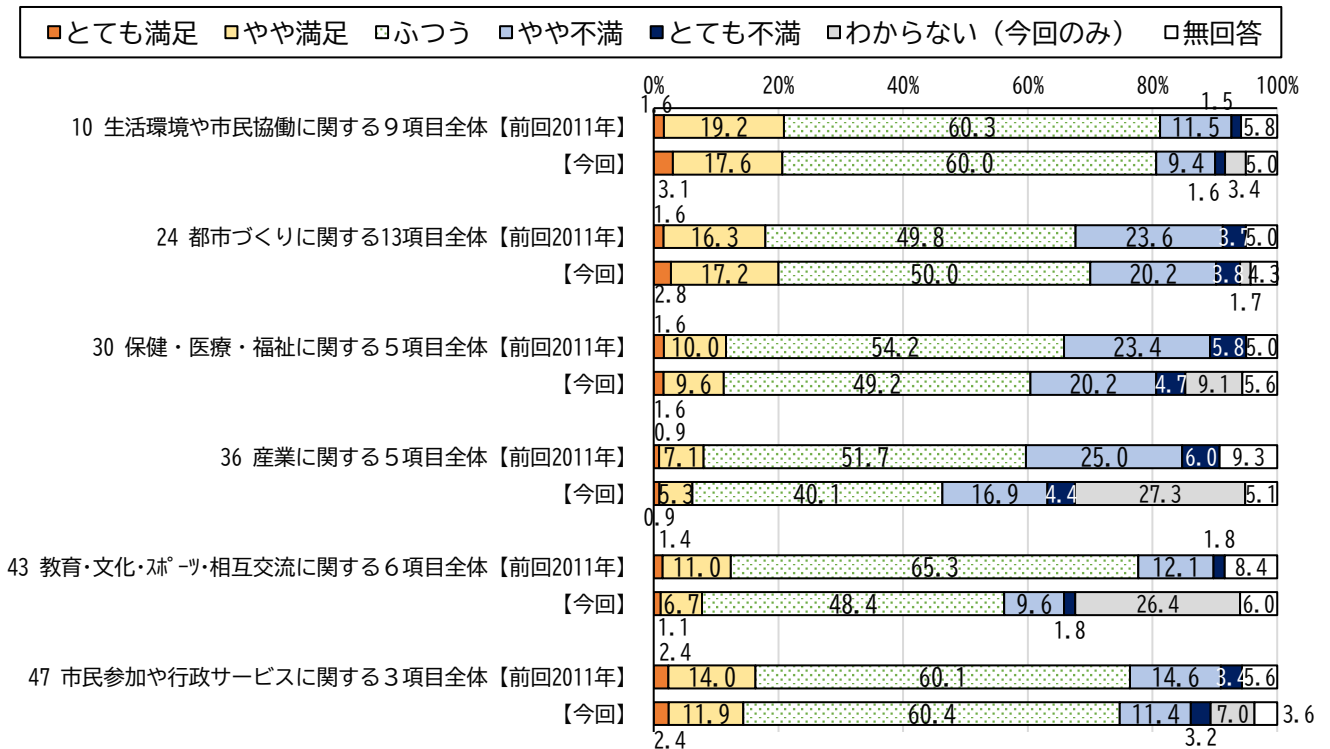
問3 現在の満足度と今後の重要度

問3 毎日の暮らしの中で、江別市の生活環境や行政サービスなどに満足していますか。また、それらについて今後江別市が取り組むにあたり、どのくらい重要だとお考えですか。次の47項目について、あなたのお考えにいちばん近い「現在の満足度」と「今後の重要度」を、それぞれ1つずつ選んで○印を付けてください。

(1)満足度について

- 「満足」が最も高いのは、「1 ごみの収集処理やりサイクルへの取り組み」で、「19 日用品(食料品など)の買い物のしやすさ」、「21 住宅環境の快適性(日照や静寂さなど)」が続きます。「やや満足」も、この3つが上位3項目です。
 - 「満足」と「やや満足」の合計が最も高いのも「1 ごみの収集処理やりサイクルへの取り組み」で、合計が4割を超えます。
 - 「不満」が最も高いのは「17 道路や歩道の除排雪の状況」で、「20 駅周辺など市街地のにぎわい」、「18 公共交通機関(JR・バス)の利用のしやすさ」が続きます。
 - 「不満」と「やや不満」の合計が最も高いのも「17 道路や歩道の除排雪の状況」で合計が6割を超えます。
- ◎「生活環境や市民協働」「都市づくり」「保健・医療・福祉」「産業」「教育・文化・スポーツ・相互交流」「市民参加や行政サービス」それぞれの全体評価となる6項目について、前回と比較すると、「24 都市づくり」は「満足」と「やや満足」の合計が前回よりも高くなり、「43 教育・文化・スポーツ・相互交流」は低くなっています。今回「わからない」を設定したこともあり、「36 産業」は「ふつう」と「やや不満」が減少し、「43 教育・文化・スポーツ・相互交流」は「やや満足」と「ふつう」が減少するなど、それぞれ前回との差が目立ちます。

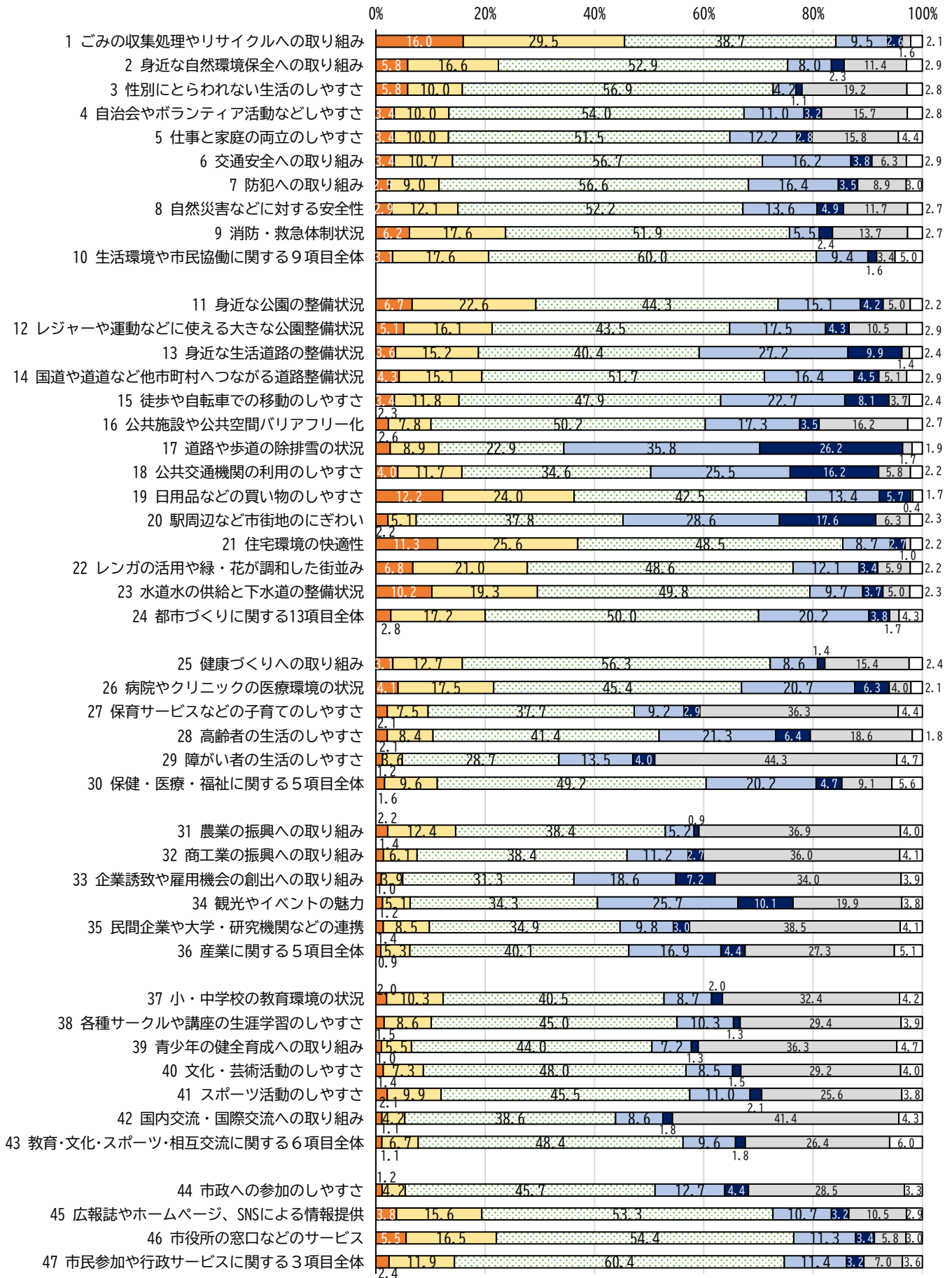
問3-1 江別市の暮らしの満足度（全体評価に関する6項目）《前回との比較》



回答者数は【前回2011年】[1,825]、【今回】[2,059]

問3-1 江別市の暮らしの満足度 [2,059人]

■とても満足 □やや満足 □ふつう □やや不満 ■とても不満 □わからない □無回答



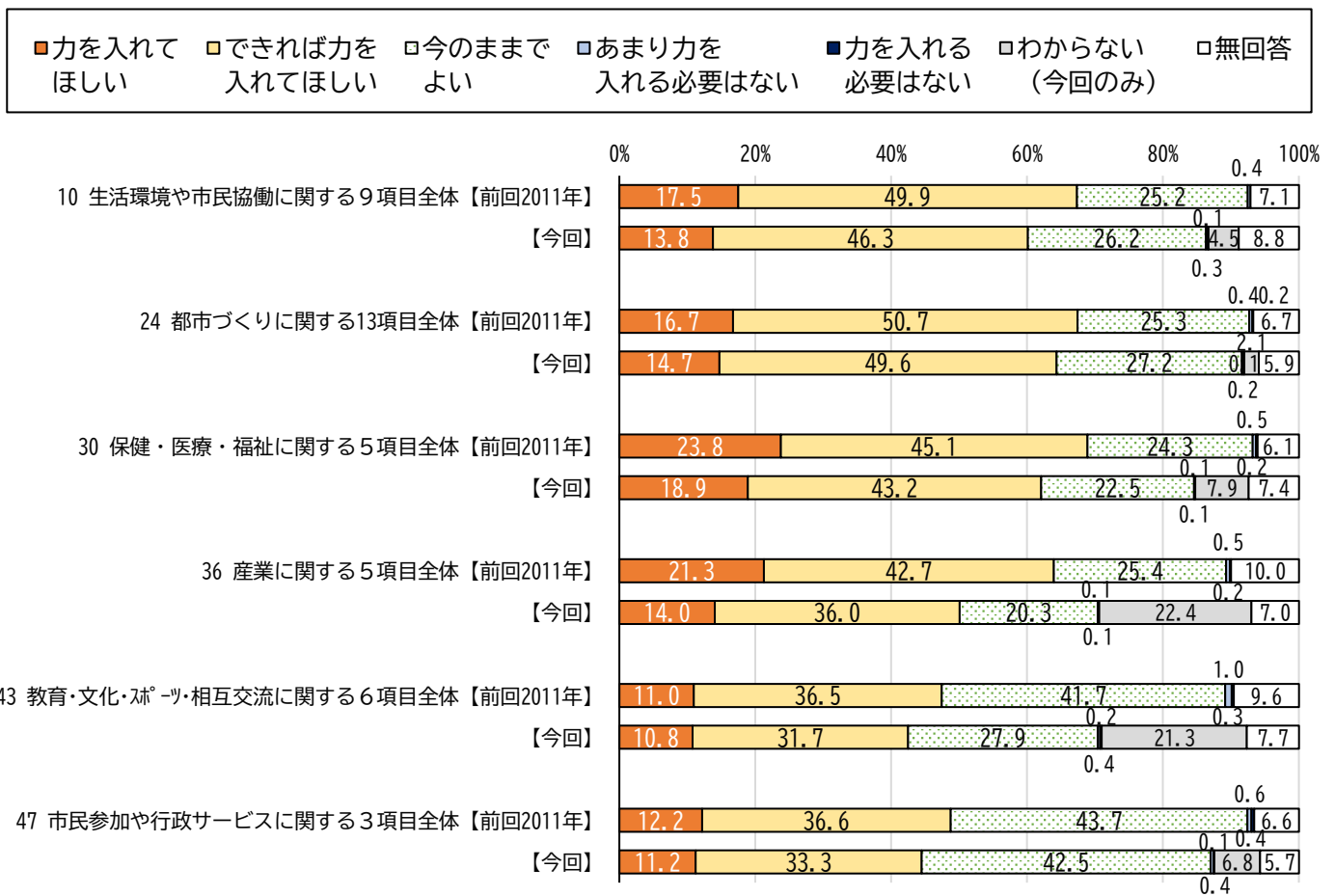
(2)重要度について

○「力を入れてほしい」が最も高いのは「17 道路や歩道の除排雪の状況」で、「8 自然災害などに対する安全性」、「18 公共交通機関(JR・バス)の利用のしやすさ」が続きます。

○「力を入れてほしい」と「できれば力を入れてほしい」の合計が最も高いのは「17 道路や歩道の除排雪の状況」で、合計が8割を超えます。

◎「生活環境や市民協働」「都市づくり」「保健・医療・福祉」「産業」「教育・文化・スポーツ・相互交流」「市民参加や行政サービス」それぞれの全体評価となる6項目について、前回と比較すると、すべてにおいて前回よりも「力を入れてほしい」「できれば力を入れてほしい」ともに減少しています。

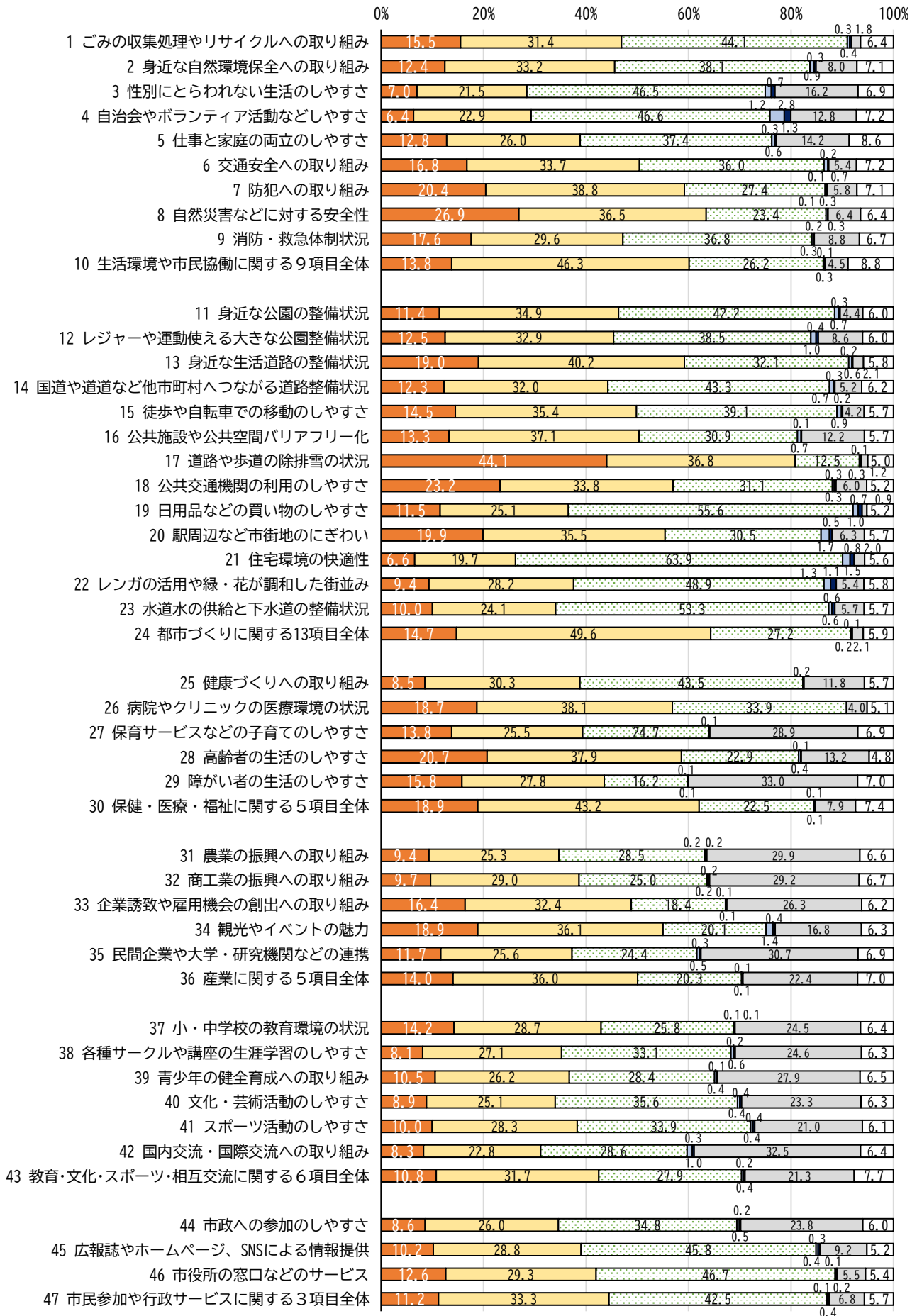
問3-2 江別市の暮らしの重要度（全体評価に関する6項目）《前回との比較》



回答者数は【前回2011年】[1,825]、【今回】[2,059]

問3-2 江別市の暮らしの重要度 [2,059人]

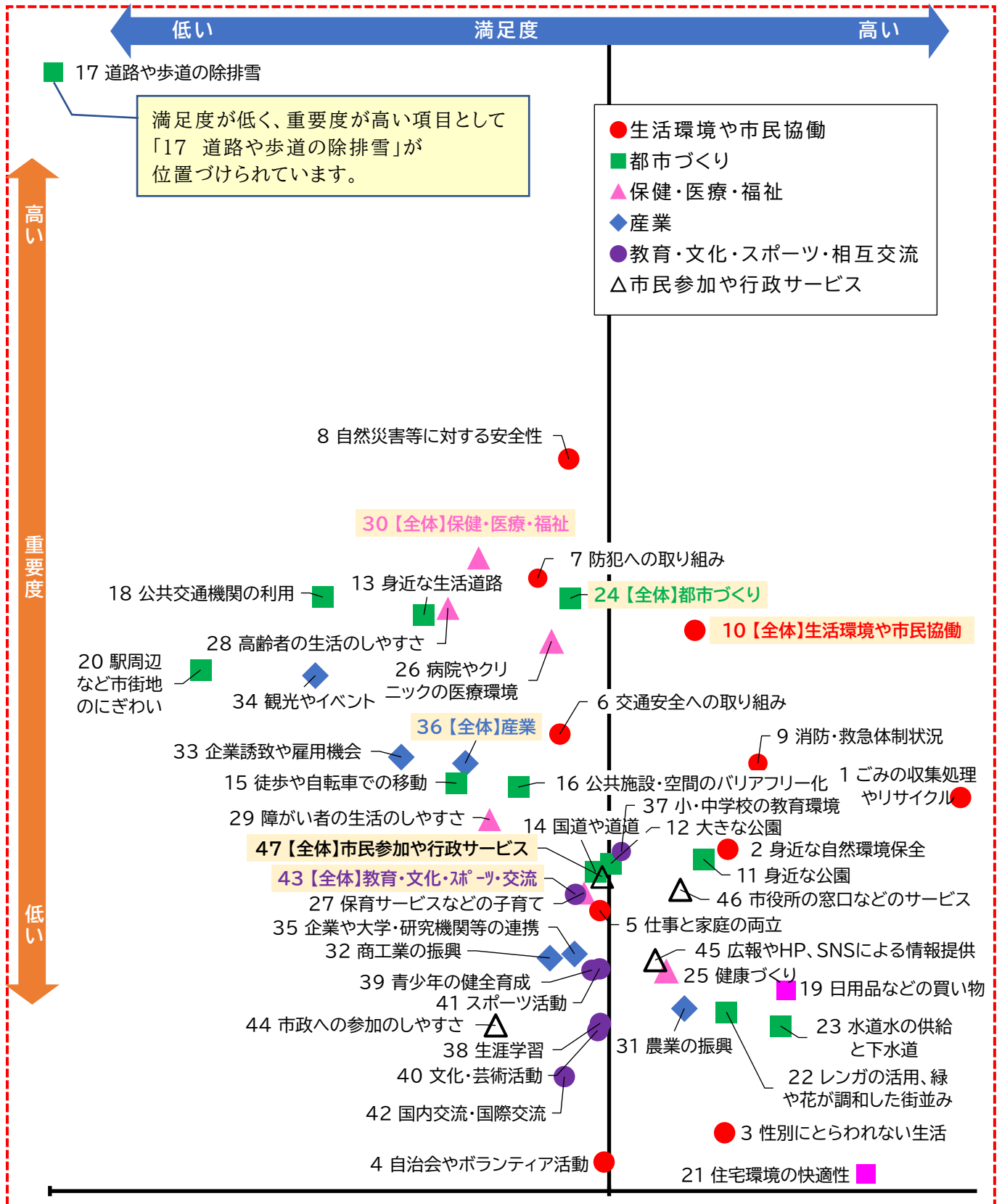
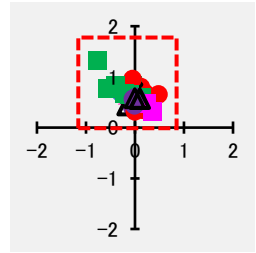
力を入れてほしい
 できれば力を入れてほしい
 今のままでよい
 あまり力を入れる必要はない
 力を入れる必要はない
 わからない
 無回答



○「満足度」と「重要度」のそれぞれの加重平均値※を算出し、満足度を横軸、重要度を縦軸としたグラフに示すと、右のようになります。

※回答数に-2から+2までの数値を掛けて、無回答を除いた回答者数で割った数値です。

○重要度の数値がすべてプラスのため、全項目が上半分に集中しています。集中している□の範囲を拡大したものが、下のグラフです。

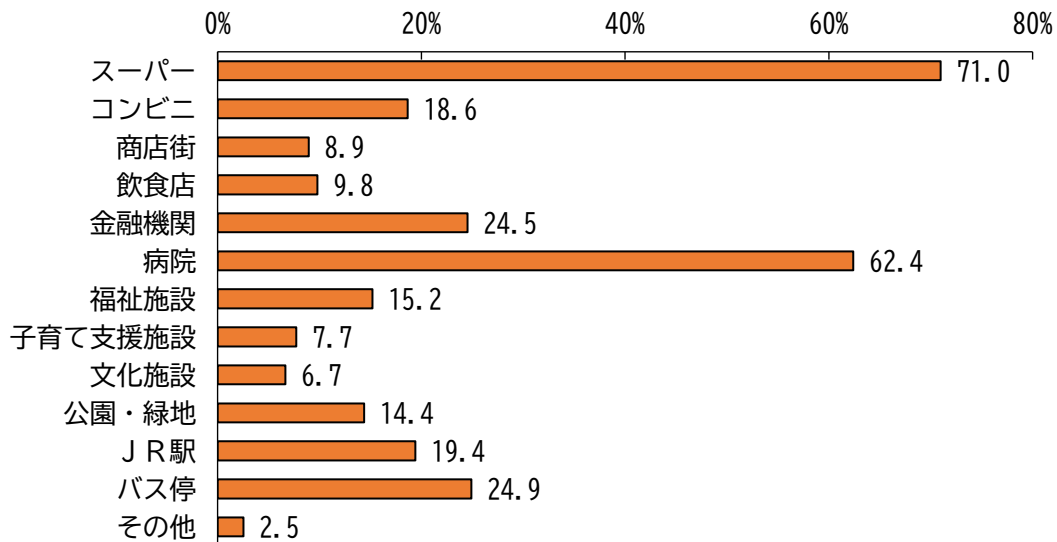


問4 住まいの近くに欠かせないと思う施設

問4 今後の暮らしにおいて、お住まいの近くに欠かせないと思う施設を3つまで選んで番号に○印を付けてください。

○「スーパー(71.0%)」が最も高く、「病院(62.4%)」が続きます。次に、やや間をあけて、「バス停(24.9%)」、「金融機関(24.5%)」がほぼ同率で続きます。

問4 住まいの近くに欠かせない施設（3つまで選択） [2,059人]



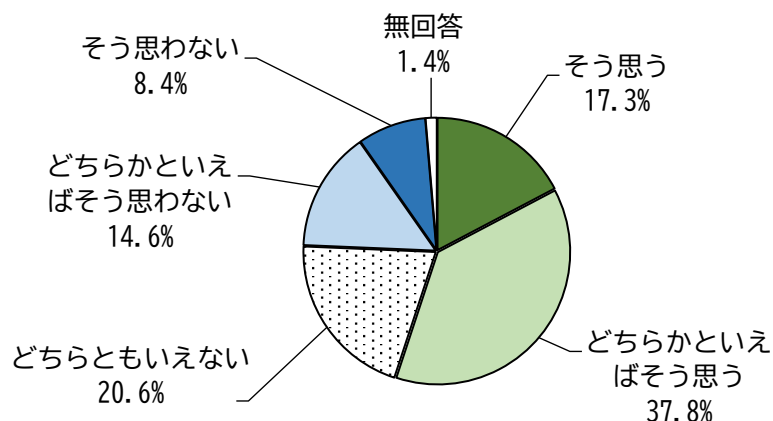
問5 コンパクトで住みやすい環境になっていると思うか

問5 江別市は、中心市街地である野幌駅をはじめとするJR各駅周辺や国道12号の沿道に商業施設や病院、銀行等の利便施設が集まる、コンパクトで住みやすい環境になっていると思いますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

○「どちらかといえばそう思う(37.8%)」が約4割を占め最も高く、「どちらともいえない(20.6%)」が続きます。

○「そう思う(17.3%)」と「どちらかといえばそう思う」の合計は 55.1%で、程度の差はありますが、肯定的な意見が過半数を占めます。一方、「どちらかといえばそう思わない(14.6%)」と「そう思わない(8.4%)」の合計は 23%で、約2割は否定的な意見です。

問5 コンパクトで住みやすい環境になっていると思うか [2,059人]

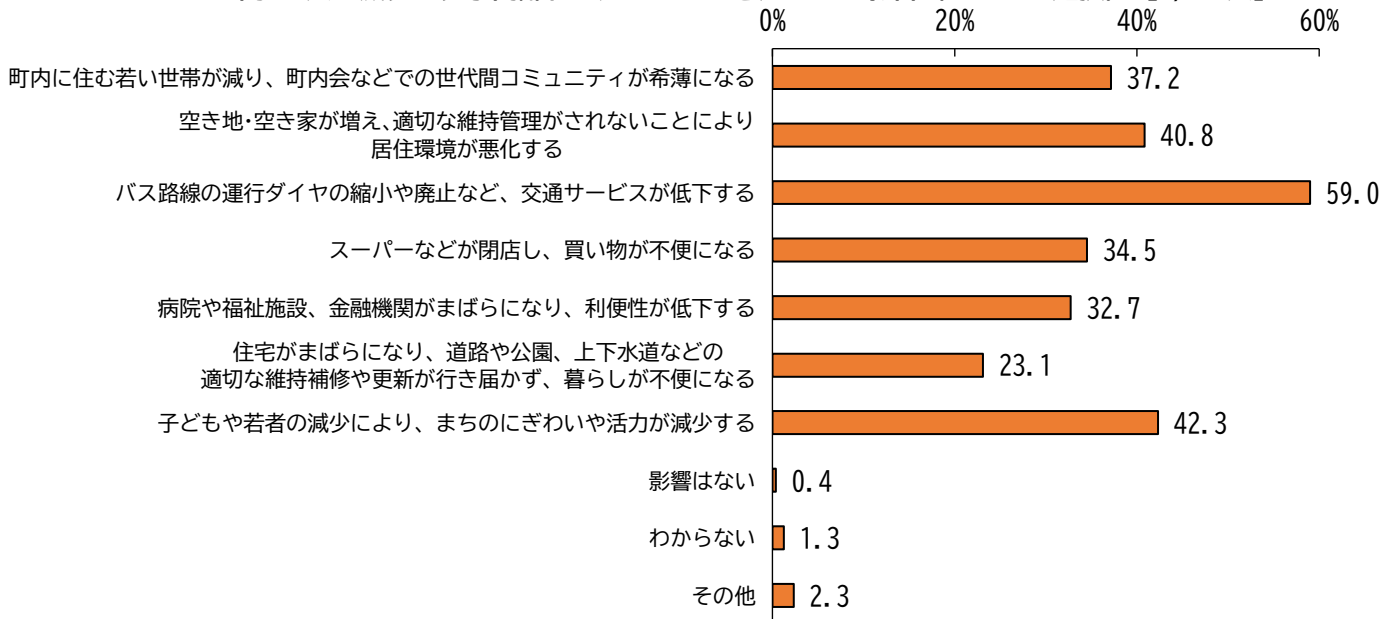


問6 人口減少や少子高齢化が進むことで、想定される影響

問6 今後、人口減少や少子高齢化が進むことで、想定される影響についてお伺いします。あなたのお考えにあてはまるものを3つまで選んで番号に○印を付けてください。

○「バス路線の運行ダイヤの縮小や廃止など、交通サービスが低下する(59.0%)」が最も高く、「子どもや若者の減少により、まちのにぎわいや活力が減少する(42.3%)」、「空き地・空き家が増え、適切な維持管理がされないことにより居住環境が悪化する(40.8%)」が続きます。

問6 人口減少や少子高齢化が進むことで想定される影響（3つまで選択） [2,059人]

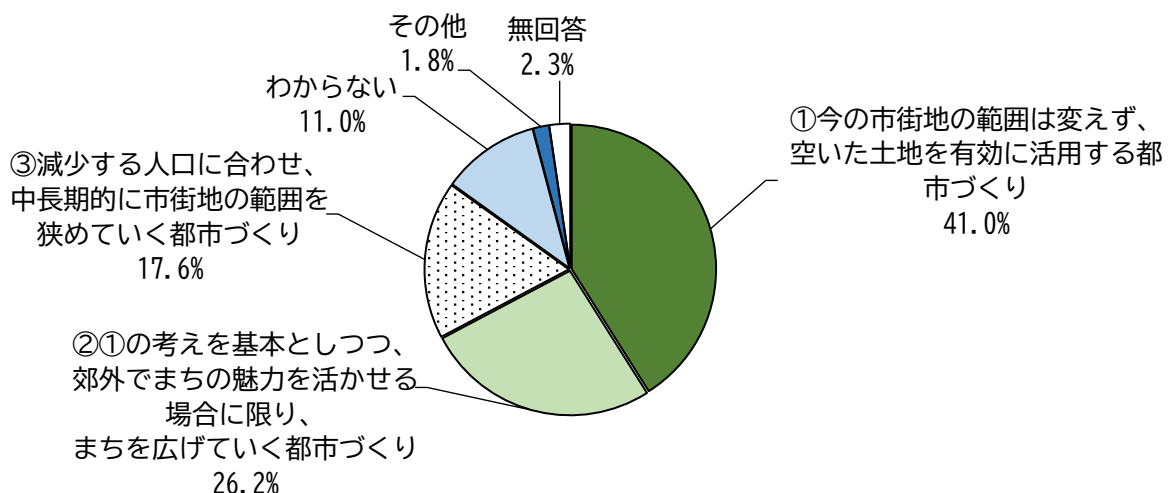


問7 今後の都市づくりの考え方

問7 今後は、人口減少が想定されるため、より効率的で持続可能な都市運営が求められます。そこで、今後の都市づくりの考え方について、あなたのお考えに一番近いものを1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

○「① 今の市街地の範囲は変えず、空いた土地を有効に活用する都市づくり(41.0%)」が約4割を占め最も高く、「② ①の考えを基本としつつ、郊外でまちの魅力を活かせる場合に限り、まちを広げていく都市づくり(26.2%)」、「③ 減少する人口に合わせ、中長期的に市街地の範囲を狭めていく都市づくり(17.6%)」と続きます。

問7 今後のまちづくりの考え方について [2,059人]



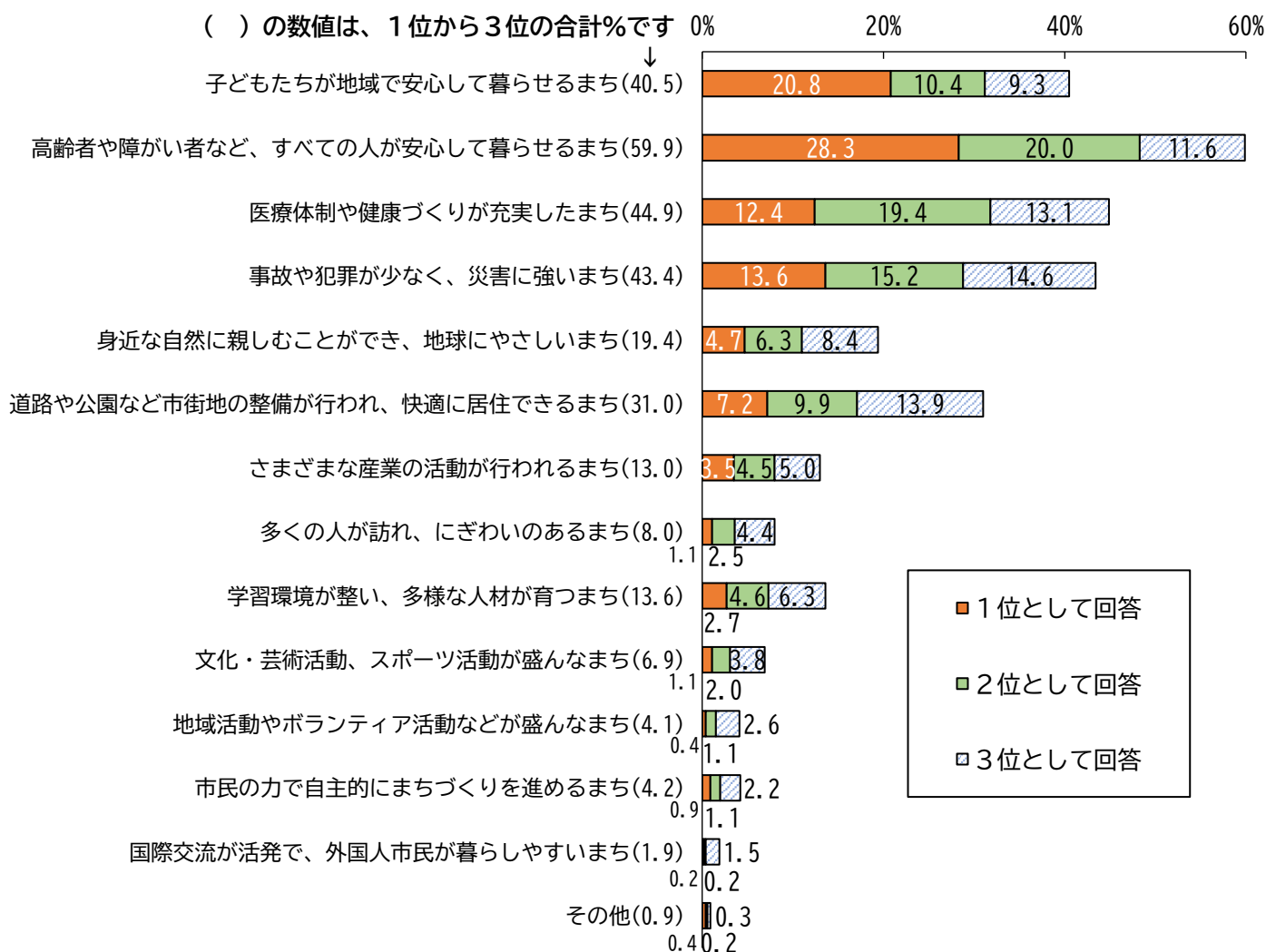
問8 将来の江別市のイメージ

問8 あなたが望む将来の江別市のイメージとしてふさわしいと考えるものを、1位から3位まで選んで一番右の枠の中に、順位(1・2・3)を書いてください。

○「1位として回答」した中で、最も高かったのは「高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせるまち(28.3%)」で、「子どもたちが地域で安心して暮らせるまち(20.8%)」、「事故や犯罪が少なく、災害に強いまち(13.6%)」、「医療体制や健康づくりが充実したまち(12.4%)」と続きます。

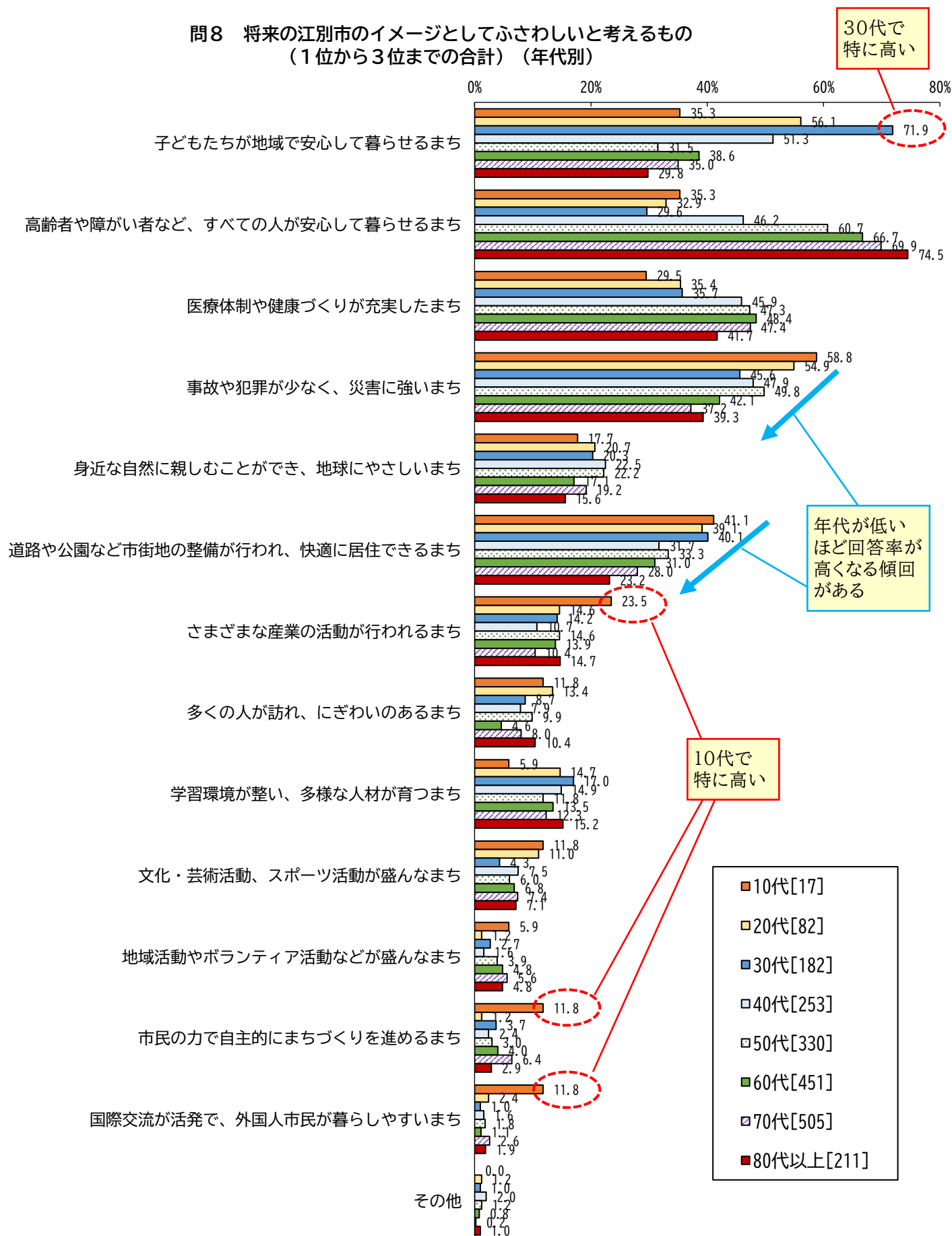
○「1位から3位までの合計」で見ると、最も高かったのは「高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせるまち(合計 59.9%)」で、「医療体制や健康づくりが充実したまち(合計 44.9%)」、「事故や犯罪が少なく、災害に強いまち(43.4%)」、「子どもたちが地域で安心して暮らせるまち(40.5%)」と続きます。

問8 将来の江別市のイメージとしてふさわしいと考えるもの(順位別) [2,059人]



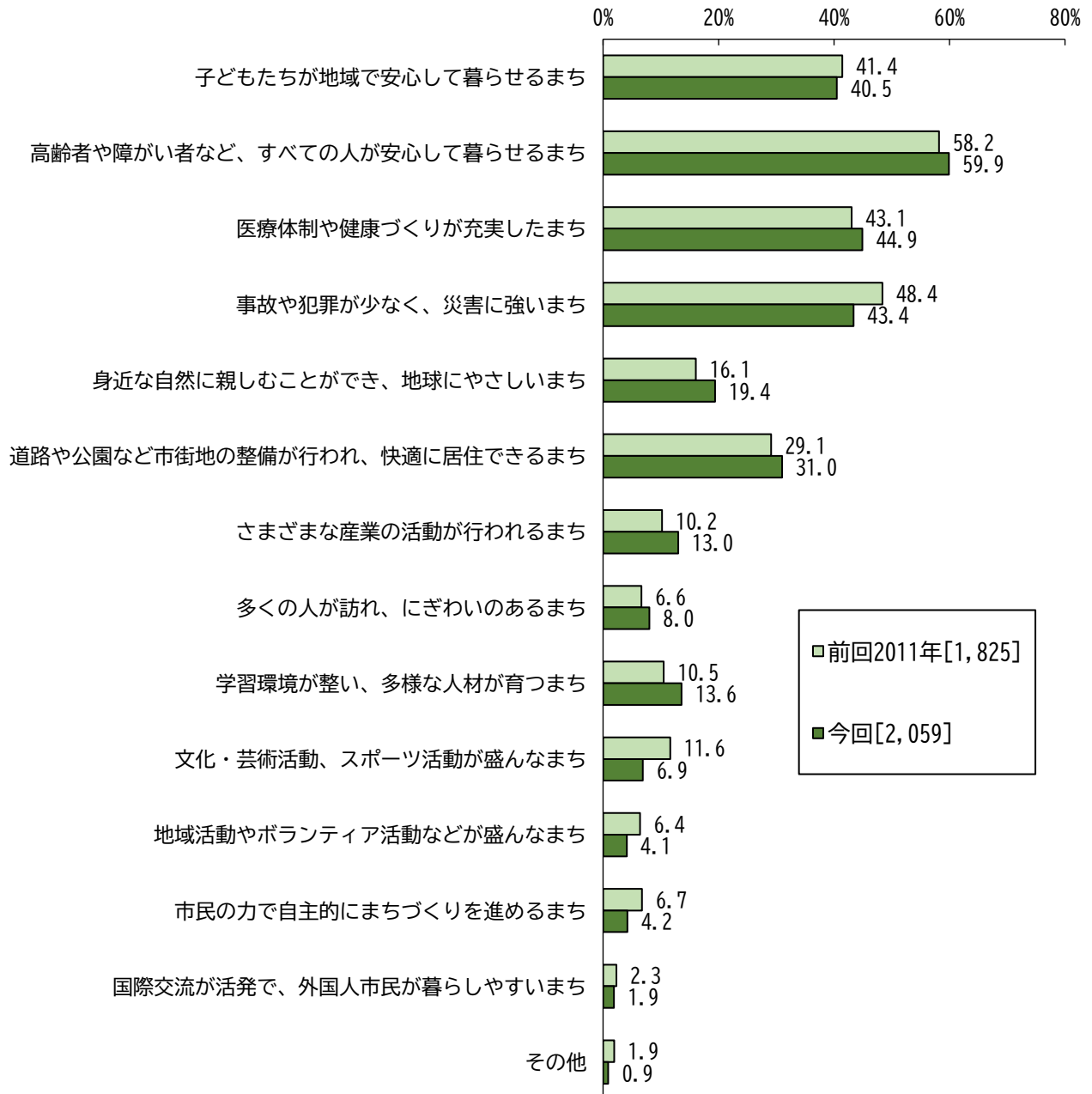
○1位から3位までの合計を年代別に見ると、10代は「事故や犯罪が少なく、災害に強いまち」、20代から40代までは「子どもたちが地域で安心して暮らせるまち」、50代以上では「高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせるまち」が最も高くなっています。

問8 将来の江別市のイメージとしてふさわしいと考えるもの
(1位から3位までの合計) (年代別)



- ◎1位から3位までの合計を前回と比較すると、今回も前回と同様に「高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせるまち」が最も高くなっています。次に高いのは、前は「事故や犯罪が少なく、災害に強いまち」でしたが、今回は「医療体制や健康づくりが充実したまち」です。
- ◎全体的に、回答傾向に大きな差は見られません。

問8 将来の江別市のイメージとしてふさわしいと考えるもの《前回との比較》

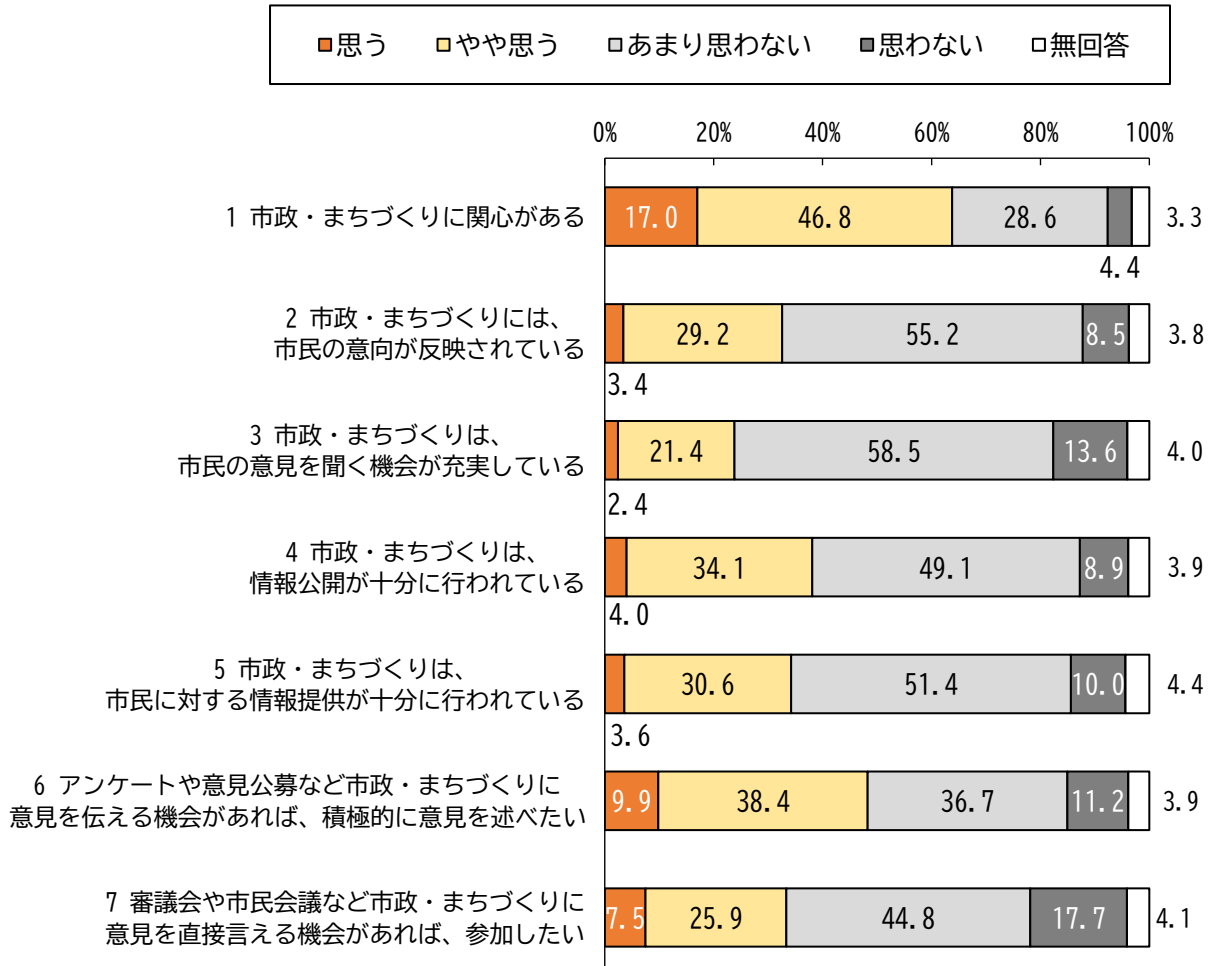


問9 江別市のまちづくりや市民参加について

問9 あなたは、江別市のまちづくりや市民参加についてどのようにお考えですか。

- 「思う」が最も高かったのは「1 市政・まちづくりに関心がある(17.0%)」ですが、1割を超えたのはこの項目のみで、「6 アンケートや意見公募など市政・まちづくりに意見を伝える機会があれば、積極的に意見を述べたい(9.9%)」「7 審議会や市民会議など市政・まちづくりに意見を直接言える機会があれば、参加したい(7.5%)」が続きます。「思う」と「やや思う」の合計が最も高ったのも「1 市政・まちづくりに関心がある(合計63.8%)」です。
- 「思わない」が最も高かったのは「7 審議会や市民会議など市政・まちづくりに意見を直接言える機会があれば、参加したい(17.7%)」で「3 市政・まちづくりは、市民の意見を聞く機会が充実している(13.6%)」が続きます。「思わない」と「あまり思わない」の合計が最も高ったのは「3 市政・まちづくりは、市民の意見を聞く機会が充実している(合計72.1%)」です。

問9 江別市のまちづくりや市民参加について [2,059人]

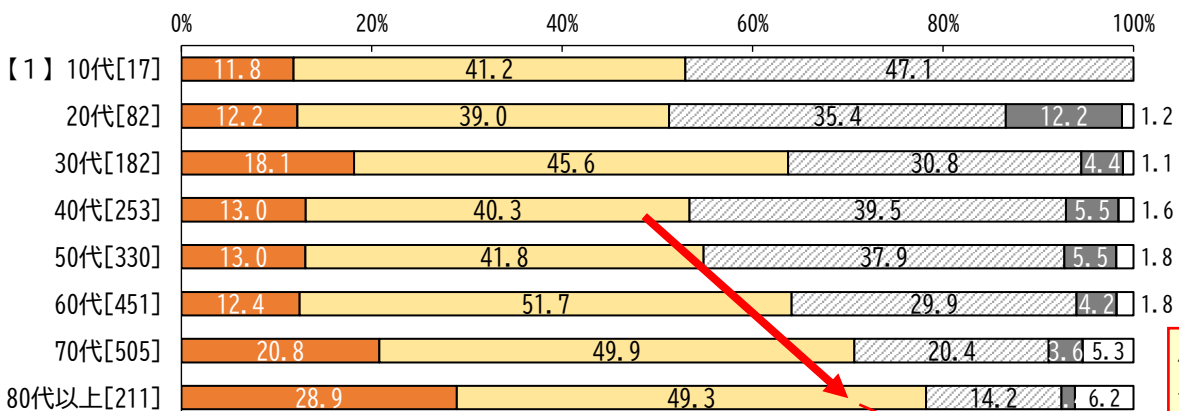


○1から7までを、年代別に見ると、次のとおりです。

問9 年代ごとの比較

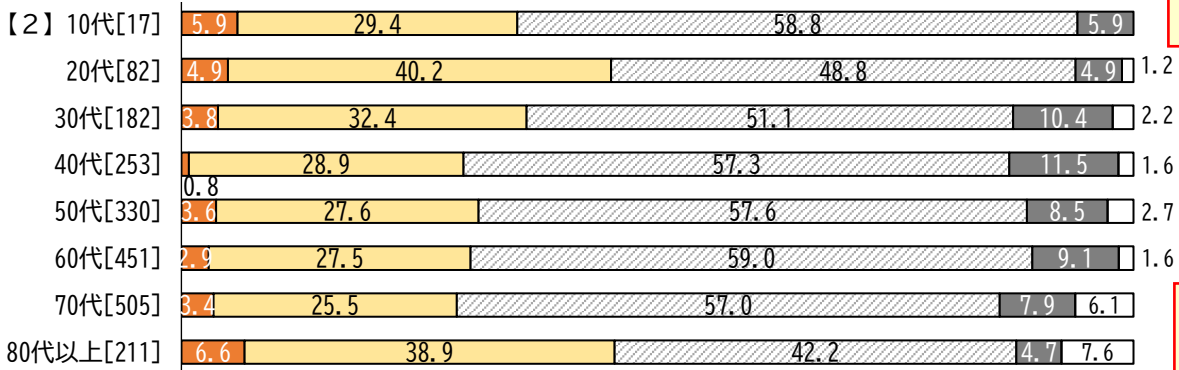
■思う □やや思う □あまり思わない ■思わない □無回答

【1】市政・まちづくりに関心がある



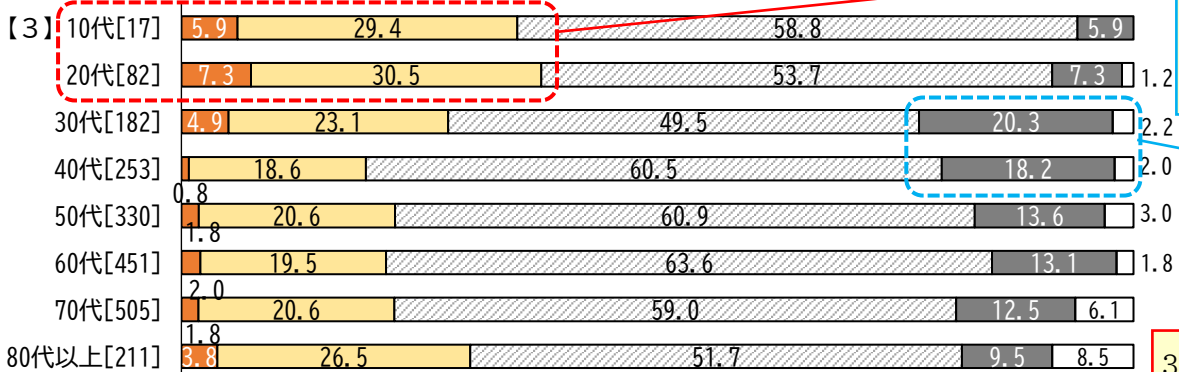
40代以上は年代が高まるにつれて肯定的な回答も高くなる

【2】市政・まちづくりには、市民の意向が反映されている



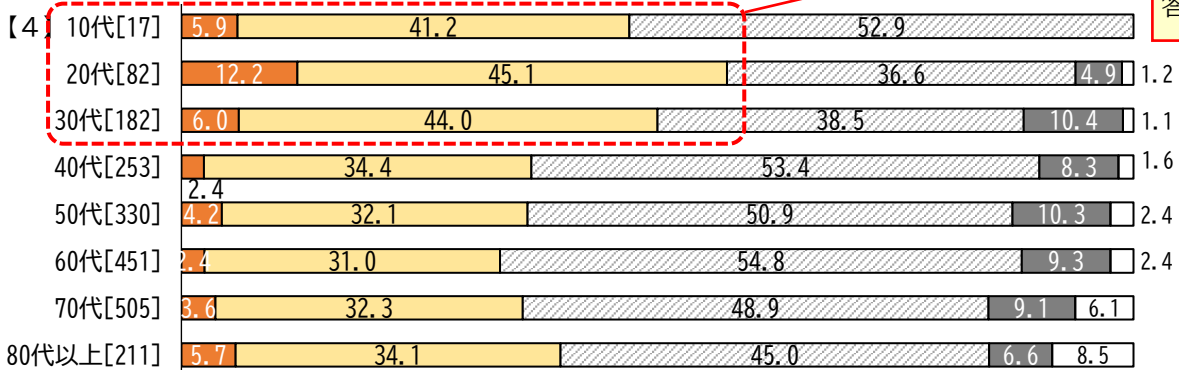
10代・20代は肯定的な回答が高め

【3】市政・まちづくりは、市民の意見を聞く機会が充実している



30代・40代は否定的な回答が高め

【4】市政・まちづくりは、情報公開が十分に行われている



30代以下は肯定的な回答が高め

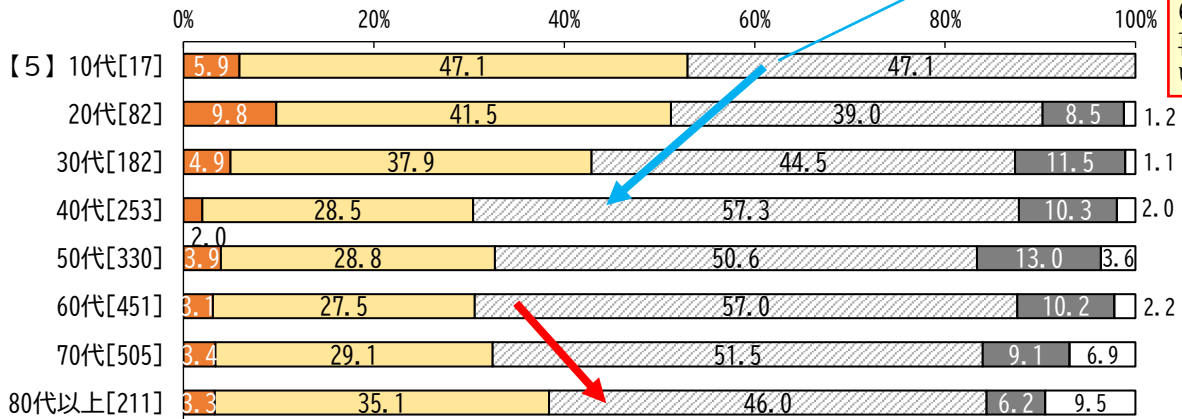
問9 年代ごとの比較

■思う □やや思う □あまり思わない ■思わない □無回答

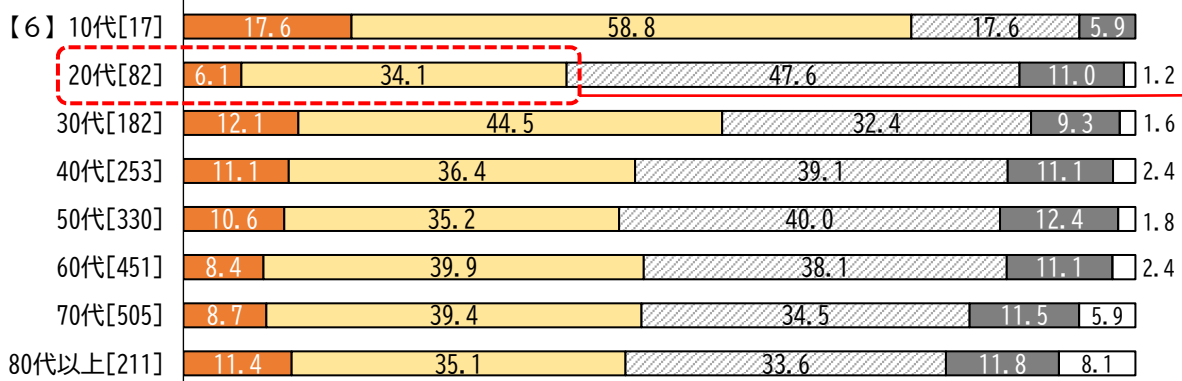
肯定的な回答は10代が最も高く、徐々に低まり

60代から再び高まっていく。

【5】市政・まちづくりは、市民に対する情報提供が十分に行われている

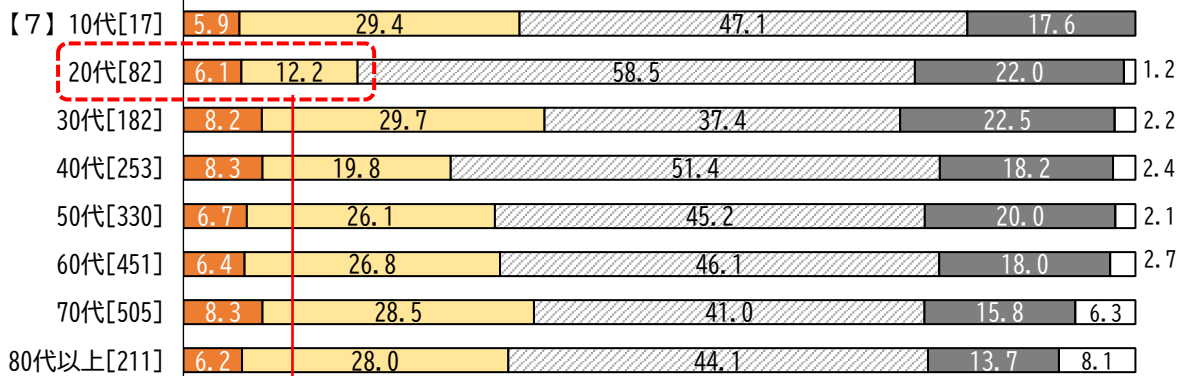


【6】アンケートや意見公募など市政・まちづくりに意見を伝える機会があれば積極的に意見を述べたい



20代が最も消極的

【7】審議会や市民会議など市政・まちづくりに意見を直接言える機会があれば参加したい



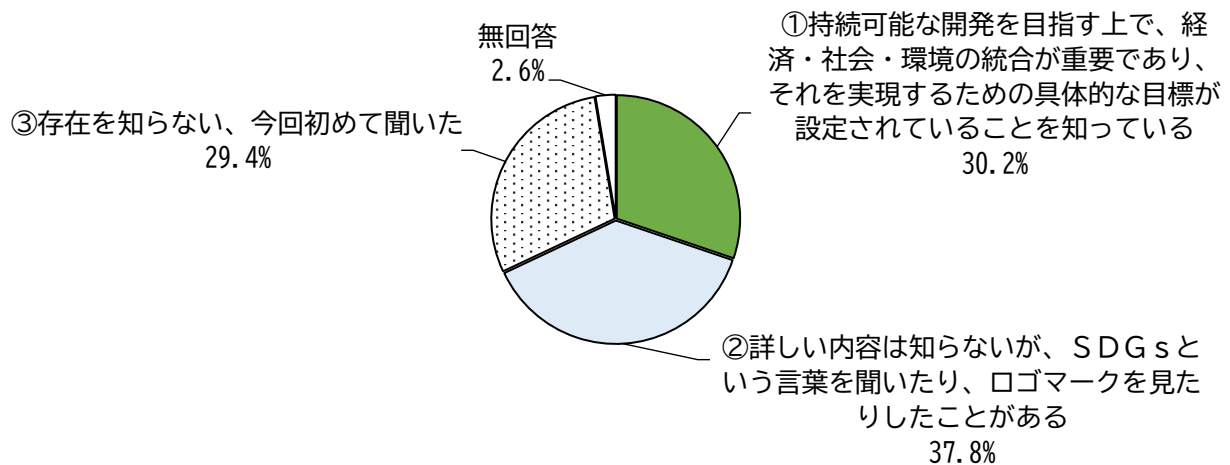
20代が最も消極的

問10 SDGsについて

問10 持続可能で、より良い社会の実現を目指すため、2015年(平成27年)に世界共通の目標「SDGs(エスディーゼーズ)」が国連で採択されました。あなたは、「SDGs」について、ご存知ですか。1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

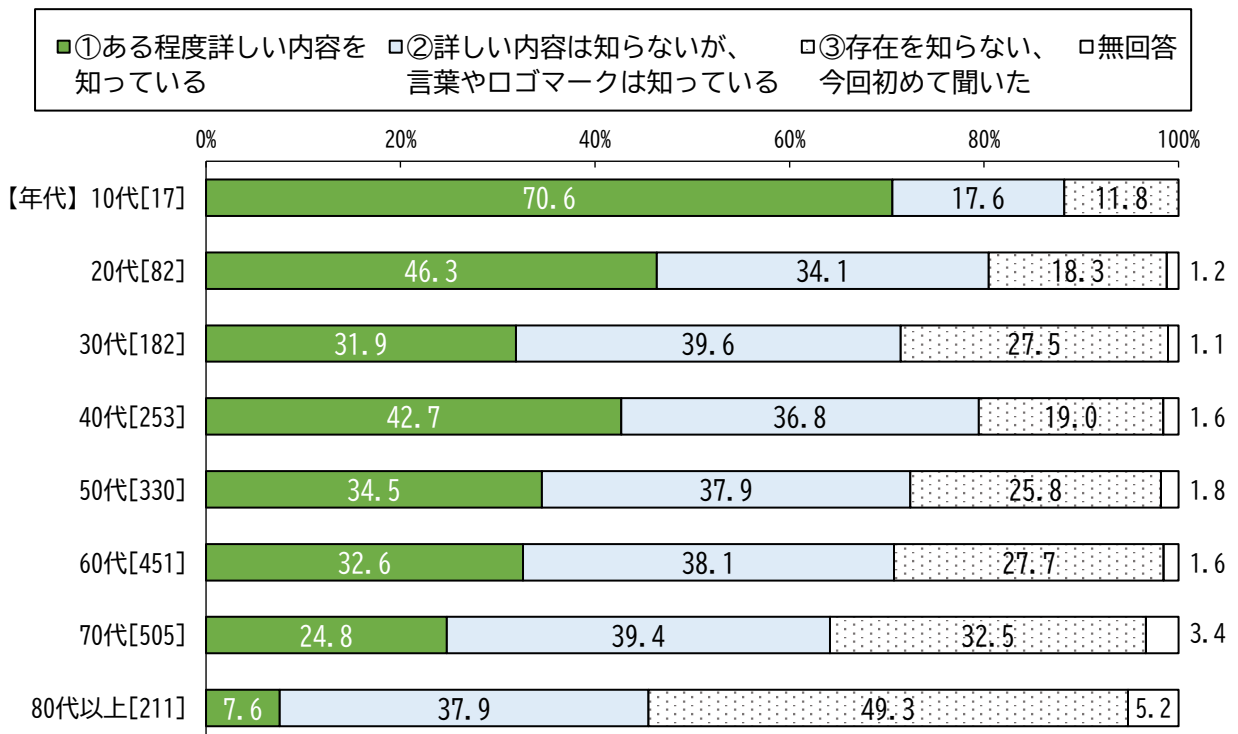
○「②詳しい内容は知らないが、SDGsという言葉を知ったり、ロゴマークを見たりしたことがある(37.8%)」が最も高く、「①持続可能な開発を目指す上で、経済・社会・環境の統合が重要であり、それを実現するための具体的な目標が設定されていることを知っている(30.2%)」、「③存在を知らない、今回初めて聞いた(29.4%)」という順番です。①と③は僅差です。

問10 SDGsについての認知度 [2,059人]



○年代別に見ると、10代、20代、40代は「①ある程度詳しい内容を知っている」が最も高く、10代は約7割を占めます。30代と50代、60代、70代は「②詳しい内容は知らないが、言葉やロゴマークは知っている」、80代以上は「③存在を知らない、今回初めて聞いた」が最も高くなっています。

問10 SDGsについての認知度 (年代別)



問11 感染拡大の影響を受け、市が特に力を入れるべき分野

問11 新型コロナウイルスの感染拡大による影響は、市民生活や地域経済など、さまざまな分野に及んでいます。そのような中、今後、市が取り組みを行う上で、特に力を入れるべき分野について、あなたのお考えにあてはまるものを3つまで選んで番号に○印を付けてください。

○「地域医療の体制や設備を充実させること(73.5%)」が最も高く、「感染症の予防対策を推進すること(59.9%)」、「地域経済を維持・活性化させること(42.8%)」、「福祉・介護分野に対して支援を行うこと(38.0%)」、「雇用を維持・確保すること(35.8%)」と続きます。

問11 感染拡大の影響を受け、市が特に力を入れるべき分野（3つまで選択） [2,059人]

